

## 総合的な学習の時間 「福祉体験」

横須賀市立大矢部中学校



### 単元（題材）目標

- ① さまざまな体験や人とのふれあいを通し、相手の立場や気持ちを理解し行動する力を伸ばす。
- ② 誰もが安心して生活できる社会を考える。
- ③ 社会の一員として、どのように関わりながら生きていくのかを考える。

(1) 実施時期 1月30日（火）5・6校時



(2) 対象（学年等・人数）

第1学年 72名（36名×2コマ） ※福祉体験5種類の中の1つとして実施

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第1学年所属2名

外部講師：聴覚障がい者1名（横須賀市聴覚障害者協会）

手話通訳者1名（横須賀手話指導勉強会）



(4) 実施内容

★ 第1学年 138名が班ごとに分かれ、5つの講座（手話・点字・車いす体験・ブラインドウォーク・シルバー体験）のうち2つを体験。50分授業2コマで、手話体験は6班（36人）×2コマ=12班が教室で学んだ。

◆ 手話体験

- ・簡単な会話（あいさつ、自分の名前など）
- ・手話に関する基本的知識
- ・指文字もよる五十音の表し方
- ・質疑応答

(5) 成果

○耳の聞こえない人の大変さなどを聞いて、口話と身振りでのクイズと手話の練習をした。耳が聞こえないのは見てわからないことだけど、それで誤解を生んでしまうことがあるということなので、もっと相手のことを考えるのが大切だと思った。耳が聞こえなくても相手に気持ちを伝える方法がたくさんあってすごいと思った。人とのコミュニケーションはとても大切だから、伝えようという気持ちをもつて相手と接することが大切だと思った。

○手話や口話、身振り、触手話などでコミュニケーションをとりました。いろいろな手の形があって覚えるのはとても大変です。講座が終わったあと、講師の方に教えてもらった「ありがとう」の手話をやったら笑顔で返してくれて、とてもうれしかったです。

○災害の時など本当に困るのだろうなと感じた。その時は助けたい。

(6) その他

5つの講座の学習資料を一つの冊子にまとめ、全員に配付し、読む時間をとった。また体験した内容は廊下に掲示して交流するので、班として体験できなくても少しでも理解につながることを願っている。